

明るい未来の創造に向けて

山形県議会議員(鶴岡市選挙区)

県政レポート No.6

じゅん

山形県議会議員 高橋 淳



“山形県の8月・9月補正予算総額としては過去最大”!

◆県議会9月定例会閉会 /一般会計補正予算総額330億4,600万円(今年度累計予算額7,434億2,800万円)の35議案と請願(私学助成関係予算の拡充など)、意見書及び19年度山形県電気事業会計など4公営企業会計の未処分利益剰余金の処分の4件及び17決算を特別委員会に付託し閉会しました

昨日の10月9日に山形県議会9月定例会が閉会致しました。

今回の補正予算は、7月豪雨被害及び新型コロナウイルス感染症への対応を進めるとともに、喫緊の課題への対応等のための補正であります。

また、10月5日に追加議案(令和2年度山形県一般会計補正予算(第7号))が提出され、今冬の新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応として、高齢者や妊婦が、厚生労働省からの通知により、インフルエンザワクチンの優先的な接種対象者とされたことに鑑み、多くの方々に予防接種を受けて頂けるよう、自己負担を軽減する支援策を実施するものです。

それと併せて、*吊りケーブルに重大な損傷が判明したため、8月28日から全面通行止めを行っている、飯豊町小坂地内の「中津川橋」について、積雪前に暫定供用できるよう仮復旧対策を実施するものです。

この結果、先に提案した一般会計補正予算(第6号)と合わせると、今定例会での補正予算総額は**330億4,600万円**となり、今年度累計予算額は**7,434億2,800万円**です。

<*ニールセンローゼ橋>上部のアーチ部材で下部の橋げたをケーブルで吊る特殊な構造。県内では「中津川橋」と自転車道「まほろば橋」のみです。

◆山形県議会9月定例会で下記の一般質問を行いました(9/28)

- 1 県税徴収方法の効率化・多様化に向けた取組みについて(総務部長)
- 2 新型コロナウイルス感染症に対する本県農林水産業の対応について(農林水産部長)
- 3 さくらんぼ等の豊富な本県果物の国内外への情報発信について(農林水産部長)
- 4 学校現場に即したICT教育の進め方について(教育長)
- 5 コロナ禍における県民の健康づくりについて(健康福祉部長)
- 6 東北公益文科大学の現状と課題について
(1)大学改革の取組み・評価等について(総務部長)
(2)東北公益文科大学の将来の在り方について(知事)
- 7 今後の再生可能エネルギー導入の進め方について(環境エネルギー部長)
- 8 日本海沿岸東北自動車道の整備促進について(県土整備部長)

以上

◆県議会定例会「建設常任委員会」での10/6質疑事項(一部抜粋)

○議第110号第2項の「債務負担行為」における、街路整備事業に係る用地取得、物件移転及び損失補償契約が3倍超になっている主な要因について。
○第3表の地方債補正にかかる限度額変更「緊急自然災害防止対策事業」の大幅な増加要因について。

○7月豪雨災害により、災害査定から公共土木施設の多くの災害復旧工事を進めるにあたり、技術者や入札などの懸念等について。

◆山形県議会9月定例会において、9/28に一般質問(県政クラブ)を行いました。→山形県議会インターネット中継

<http://gikai.pref.yamagata.jp/YamagataPref/>

<県政等の動きトピックス>

●インフルエンザワクチン接種費用の助成(補助単価として、1人当たり1,000円を上限)!

9月11日付け厚生労働省によるインフルエンザの流行に備えたワクチンの優先接種に係る通知を受け、重症化リスクの高い高齢者(65歳以上)等の定期接種対象者及び妊婦のインフルエンザワクチンの接種率向上を図るため、自己負担となっている接種費用の一部を支援します。

*事業費は260,000千円、補助単価として、**1人当たり1,000円を上限**とします。

●14年ぶりに「山形県ホームページ」のリニューアルを行います!

公開日:令和2年10月12日(月)18時予定!

このたび、山形県ホームページがリニューアルします。現在のホームページは平成18年3月から運用を開始し、これまで、平成22年度と平成26年度の2度にわたり軽微なデザイン変更を行ってきましたが、ホームページ全体のリニューアルとしては14年ぶりとなります。

最初に表示される画面に、山形の魅力を伝える画像をスライド形式で表示、スマートフォン画面への表示の最適化、事業者向け情報(入札情報等、事業者向け専用ページの開設)、山形の産業や歴史文化等の魅力をストーリー仕立てで紹介するスペシャルコンテンツの開設など。

●東北農林専門職大学(仮称)に決定!

専門職大学の設置に向けて、昨年12月に策定した専門職大学基本構想を踏まえ、大学の学部・学科構成やカリキュラム編成などの具体的な事項を定める基本計画について、基本計画検討委員会(学識経験者、農業、林業、関係団体、教育の20名)で検討を行っています。9月14日に第2回委員会を開催し、基本計画中間報告が策定され、**①本県のみならず東北を代表し、我が国の農林業を牽引する高度人材を育成する。②対象となる産業分野を端的に表す。③名称中に「専門職大学」という文字を用いなければならない(専門職大学設置基準第54条)**を踏まえ、名称を「**東北農林専門職大学(仮称)**」に決定いたしました。

●豚熱(CSF)ワクチン接種(庄内地域は10月下旬から予定)

9月9日に福島県会津若松市で発見された死亡「野生いのしし」について、豚熱の感染が確認されたことを受け、農林水産省は、9月11日に山形県をワクチン接種推奨地域に指定いたしました。

初回ワクチン接種を置賜地域から開始し、地域毎の接種計画により、庄内地域は10月下旬から12月下旬を予定しています。なお、全県下での初回接種終了は12月下旬を予定しており、97農場、193,000頭となります。

●令和元年度県産農産物の輸出実績は過去最多の1,650トン(前年度比109%)!

県産農産物の輸出量は、東日本大震災発生後に落ち込んでおりましたが、平成24年度以降から徐々に回復し、令和元年度は過去最多の1,650トン(前年度比109%)です。一方、県産農産物の輸出額は、牛肉等の輸出額が減少したことにより、828百万円(前年度比92%)。なお、「米」の輸出量は、香港・米国・台湾向けを中心に増加しており、過去最多で輸出量全体の約8割にあたる1,338トン(前年度比112%)です。

●新・生活様式対応支援金(中小企業支援型)の2次募集を行います! 10/14~10/26

新型コロナからの経済回復に向け、中小企業・小規模事業者等が新しい生活様式に対応するために行う改修やパーテーション等の設備導入等の取組みを後押しするため、山形県知事が認定したのに対し補助金を交付するものです。【応募受付期間:10/14~10/26迄/相談・申込先:山形県中小企業団体中央会 ☎023-665-1077】

●山形県迷惑行為防止条例の一部を改正(施行日:令和3年2月1日より) 罰則引き上げ!

山形県迷惑行為防止条例において、①卑わいな行為の禁止(第3条)に、「のぞき見、撮影する目的で写真機等を設置し、又は向ける行為」などを追加し、②嫌がらせ行為の禁止(第9条)においては、特定の者に対する嫌がらせ行為(電子メールやSNSメッセージの送信、ブログの書き込みなど)を新たに規制します。

併せて、罰則の引き上げ(第10条)も、来年2月1日から施行されます。

発行人:山形県議会議員 高橋淳

<高橋淳事務所> 発行日:令和2年10月10日

〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡100-1

TEL:0235-26-8731/FAX:0235-26-8732

Mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com

<山形県議会/県政クラブ執務室>

TEL:023-630-3211(4階受付)

※皆様からの県政に対するご意見をお待ちしております。



○山形県河川・砂防情報システムについて、「不具合、見づらい」などのシステム改善の検討状況について。

○9月補正予算にかかる、「住環境向上及び住宅・木材産業活性化緊急促進事業費」として101,400千円を計上し、落ち込んだ住宅需要を喚起するためのリフォーム事業(新・生活様式)の考え方について。他

◆建設常任委員会において、防災・減災、国土強靱化に向けた対策の継続・拡充を求める意見書を提出!

近年、全国的に記録的な集中豪雨や局地的大雨による自然災害が頻発化・激甚化しており、本県においても甚大な災害に見舞われていることなどを踏まえ、現在の3か年緊急対策にとどまらない、中長期的かつ計画的な防災・減災、国土強靱化が求められていることを鑑み、建設常任委員会では、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたしました。

<県政・鶴岡市の関連情報>

○県議会与党会派「県政クラブ」に今野美奈子県議会議員が入会されました。10月8日に開催された県政クラブ議員団総会(県政クラブ会派規約に基づき)での承認を得て、議会事務局に会派異動届を提出し、翌日の議会運営委員会で報告されました。変更後の会派構成は、自民26人、県政クラブ11人、共産党県議団2人、公明党1人、無所属2人です。

○山形県における交番・駐在所整備計画(令和3年度~5年度)が示されました。交番及び駐在所全体の約3割(39施設)が建て替えの目安を超えており、それらの老朽施設を解消し、限られた警察力で的確に事案対応(警察力を適正に配置)するため、人口動態や交通環境の変化等の長期的視点を踏まえた整備計画です。鶴岡警察署管内については、令和3年度に西郷駐在所と上郷駐在所を大山駐在所に統合し、駐在所を建て替えいたします。令和4年度には湯野浜駐在所が建て替えとなります。



◆議会レポートあとがき

○県内でのクマの目撃情報や被害などが多く発生しています。私が住んでいる和名川の民家でも、10月4日(日)の早朝、庭木にクマが上がっている姿を住民が目撃(警察に通報)し、その後、近隣2キロ先の三川町の田園で、県猟友会鶴岡支部藤島分会により駆除されました。また、7日には鶴岡市白山の事業所で男性がクマに襲われ、翌日に駆除されています。

県内に生息するのはツキノワグマであり、エサの一つがブナの実とされ、**県内の天然ブナ林の面積は日本一の約15万ha**です。クマの餌となるブナの実が少なくて、冬眠前にエサを求めて、人が住むエリアへ行動範囲が広がる可能性があるとして、県や市町村などでも注意を呼び掛けています。

昨年、県議会12月定例会でも「鳥獣害被害対策」についての質問を行い、対応策や今年度への予算が計上されていますが、今まで出沒したことのない市街地でもクマが目撃されていますので、引き続き「注意」が必要です。

○山形県の広範囲を襲った7月豪雨災害については、令和2年10月1日現在で、「浸水住宅復旧緊急支援事業費補助金」の交付決定が344戸、40,424千円となっています(残額35,076千円)。特に、河北町が140戸、中山町が60戸、大石田町が50戸となっています。

これから、鶴岡市、三川町、天童市なども順次受付される見込みですが、今後の台風や大雨などの災害被害が起こらないようにと願っています。

○県議会9月定例会においては、吉村県知事の出馬表明の考えや、羽黒山周辺の風力発電計画など、野党会派側から多くの質問がありました。未だ吉村県知事からは出馬表明の発言はありませんが、**新型コロナの関連対応と県内の経済回復、そして、7月豪雨災害の災害復旧・復興のため、定例会中も「熱慮」を重ねていたと感じています。**山形県の県政発展、ひいては、県民の生活向上に向け、是非、出馬表明して頂きたいと思っています。(∇∇)/